



2024年5月16日
株式会社 Y4.com

経済産業省「令和5年度補正 PHR 社会実装加速化事業」において
株式会社 Y4.com「バイタルデータ連携事業」が採択
- “自然と健康になれる社会”を実現する PHR -

株式会社 Y4.com（本社：東京都千代田区、代表取締役：安嶋幸直、以下 Y4.com）は、事業者・生活者ともに開かれた環境で PHR が繋がり、より豊かなサービス・生活・体験が広がる未来につなげるべく、PHR サービス利用者の拡大とユースケースの創出を目指して経済産業省が実施する「令和5年度補正 PHR 社会実装加速化事業（情報連携基盤を介した PHR ユースケースの創出に向けた課題・論点整理等調査実証事業）」の実証事業者として採択されました。弊社は、本実証を通して提供する PHR サービスならびにマーケットの成長に寄与し、日本のヘルスケアサービスに貢献してまいります。



■サービス概要 この度、株式会社 Y4.com が採択された「バイタルデータ連携事業」では、PHR（デイリーのバイタルデータ）の元データ収集のために、健康管理アプリ「VitalGain」及び健康管理プラットフォーム「Genkimiru」とウェアラブルデバイス「BS BAND」をモニターへ提供します。

健康管理アプリ「VitalGain」

①マルチデバイス対応

ウェアラブルデバイスをはじめとして、メーカーを問わず様々な健康機器と接続することが可能。

（Bluetooth 連携やアプリ間連携）アプリ上では、使う機器や課題（介護予防・ダイエット等）に合わせて効果的な可視化項目を50種類以上のダッシュボードから選択し、見せることができます。

②行動変容のための仕組み

歩いた分だけ、医療費抑制効果に対してポイントが貯まります。（※弊社がビジネスモデル特許を取得。）更に、バーチャルコンテストの参加等により電子マネーが獲得でき、8種類の電子マネーやギフトへ交換可能です。AIによるアドバイス提供や、メタボ・糖尿病・メンタルヘルスなどの健康課題に対して、有資格者をマッチングした“オンライン健康相談”も提供しています。

健康管理プラットフォーム「Genkimiru」

データの出力・連携

VitalGain アプリを通して取得したバイタルデータを、デジタル田園都市国家構想等で、自治体の都市 OS へ連携させた実績が複数あります。

また、①マルチデバイス対応のため、他メーカーでの API 組み込みを多数対応しております。

ウェアラブルデバイス「BS BAND」

今回提供するデバイス「BS BAND」は、数十～数名規模の40代から90代の方への導入実績があり、幅広い年代の方にとって使いやすいウェアラブルデバイスです。バイタルデータ連携を予定している項目として歩数・睡眠時間・ストレスなどのほか、興味を持っていただきやすい、“血中酸素濃度”や“表皮温度”も可視化されます。

このように、健康管理プラットフォーム「Genkimiru」と健康管理アプリ「VitalGain」、ウェアラブルデバイス「BS BAND」を活用し、PHR（デイリーのバイタルデータ）を、データ連携基盤を介して多くのサービス事業者へ安全に提供することで、PHRのユースケースの創出実現と、社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

■「令和5年度補正 PHR 社会実装加速化事業（情報連携基盤を介したPHRユースケースの創出に向けた課題・論点整理等調査実証事業）」について

<背景・目的>

近年、民間事業者によって、健康診断結果をはじめとする、体重、血圧、血糖値等の情報やウェアラブルデバイスやセンサー機器等で取得される食事、運動、睡眠等の健康医療情報、いわゆるPHR(Personal Health Record)を用いた多種多様なサービスが提供されています。日本が少子高齢化・人口減少の課題に直面する中でPHRを活用した予防・健康づくりの重要性は高く、健康寿命の延伸や未病対策の観点でも、新たな産業創出や既存の商品・サービスの質の向上が期待されています。

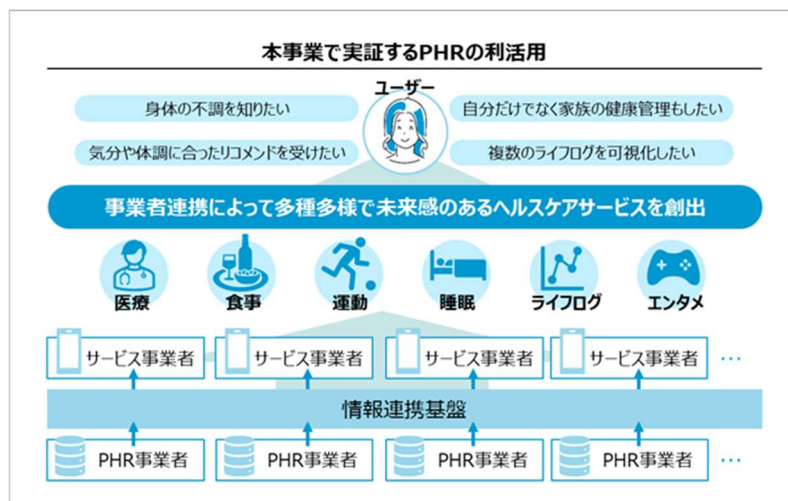
政府全体の動きとしても、内閣総理大臣をトップとする医療DX推進本部が2022年10月に設置され、PHRの利活用を含む医療DX推進に向けた議論が開始され、関係省庁の連携の下で医療DX実現に向けた施策が着実に実践されているほか、2023年7月には業種横断的な事業者団体であるPHRサービス事業協会が設立され、政府のみならず民間でもPHR利活用の機運が高まっています。

こうした中で、経済産業省として更なるPHRの社会実装加速を図る事業、令和5年度補正PHR社会実装加速化事業（情報連携基盤を介したPHRユースケースの創出に向けた課題・論点整理等調査実証事業）を推進し、本事業における実証を通じて得られた成果を2025年大阪・関西万博（以下、万博）の場で国民向けの体験として提供し、PHRに対する国民の関心を喚起させるとともに、実際のPHRサービス・商品の社会実装に向けた課題や論点の整理を行います。

<事業概要とスケジュール>

本実証事業、並びに2025年4月から開催される「いのち輝く未来社会」をテーマにした万博を通じて、事業者・国民がともに開かれた環境で多様なPHRとサービスが繋がり、新たな商品やサービスを生み出す事業者、それを安心して利用する国民の、より豊かな生活・体験が広がる未来への礎を築き、PHRによる“自然と健康になれる社会”を実現してまいります。

本事業期間には、運動、睡眠、食事等の各テーマにおいて、PHR事業者及びサービス事業者の協調のもと、情報連携基盤を介したPHRを活用したユースケースを提供する仕組みを実証的に実現します。



事業概念図

今後、ユースケースの具体化および情報連携基盤との接続を進め、2025年2月には、ユースケースを体験・評価する実証イベントを開催する予定です。また2025年4月以降には、創出されたユースケースの国民の体験機会を万博で設けることでPHRサービス利用者の拡大を目指します。

本事業の詳細は公募サイト<URL : <https://phr-expo-data-utilization.meti.go.jp/>>をご覧ください。

本事業のスケジュール																
2024年						2025年										
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	～	10月
対外表						● 採択事業者発表			● ユースケース紹介							● プレイベント
実証事業内イベント						● マッチングイベント										● 実証イベント ● 万博開始
採択事業者の取り組み	公募・採択	ユースケース検討					サービス・プログラム開発 (基盤接続・データ連携等)			情報連携基盤 接続テスト		実証事業報告		大阪・関西万博での PHRを活用した体験提供		
		複数のPHR事業者・サービス事業者が協働のもと連携し、PHRを活用したサービス・商品を提供するユースケースを構想する。					複数の事業者間でPHRのやり取りができる情報連携基盤への接続を含むサービス開発を行う。			各ユースケースにおいて情報連携基盤への接続を実行し、接続テストなどを行う。万博への出展事業者が確定する。		各ユースケースにおいて実証イベントでユーザーへのユースケース体験機会を提供し、実証事業の成果検証・報告を行う。		本事業で構築された情報連携基盤を活用したユースケースの体験展示やサービス提供を実施予定。「健康とウェルビーイングウィーク」と連動予定。		

※今後変更となる場合があります。

本事業のスケジュール

【株式会社 Y4.com 会社概要】

[所在地] 東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエアイーストタワー 4F

[設立] 2012年4月

[代表者] 安嶋 幸直

[事業内容] ヘルスケアサービス事業、IOT 機器輸入販売事業

[URL] <https://y-4.jp/ja/>



株式会社Y4.com

株式会社Y4.comは、スマート・ライフ・プロジェクトと、みなさまの健康・体力づくりを応援します。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社 Y4.com 管理部

E-mail : info@y-4.jp